



2020-2021年度

地区ロータリー財団セミナー・ 補助金管理セミナー

国際ロータリー第2520地区

2020年8月1日(土)



ご挨拶

ガバナー

伊藤 智仁

20-21年度ガバナーを務める花巻南ロータリークラブの伊藤智仁です。今年は早々から新型コロナの発生で準備も本番も苦労しております。しかしながら、この試練は、神が人類に対し変革を求めているものと捉えて臨む所存です。そして、これを機会に新たな切り口の提案もさせていただきます。なにとぞご協力よろしくお願いします。

さて、

初めにロータリーの構図を知っていただきたい。ロータリーには運営をサポートする国際ロータリーと奉仕活動を掌るロータリー財団があります。会社でいえば総務部門と生産部門のような関係です。2019年会計で国際ロータリーは人頭分担金で84億円集め、組織運営に86億円を当てています。(少額ではありますが、その他にも国際大会等の収入・支出があります) また、ロータリー財団は寄付で350億円集め、6つの重点分野にポリオを加え(プラス)で365億円の奉仕活動をしております。奉仕活動がロータリーの本丸ですから財団の位置づけと「寄付ゼロクラブ(年次基金)を無くしましょう」という意味も理解していただけたらと思います。

望むのは、公共イメージを高めて寄付の輪を広げ、集めた寄付で本丸である奉仕活動を行い、有効な奉仕活動の広報によってイメージアップを図る。という循環です。その際の話題はロータリーの友やガバナー月信、そしてロータリーボイスなどにあります。特にロータリーボイスはカテゴリー選択が出来るので大変便利です。例えば、基本的教育と識字率向上で選択すると「ラダック成人女性識字プロジェクト」・「ミャンマー小学校建設で広がる奉仕の輪」・「夢を背負って、未来へ！～ 思い出のランドセル、金沢からミャンマーへ ～」・「ブラジルのクラブが子どもたちの識字率向上を支援」など国内外の活動報告を掲載しています。2018年度会計でグローバル補助金（ポリオプラス除く）に該当する事業数は1,306。これらに皆さんの寄付が活かされているわけです。故に自信をもって紹介してください。なお、財団支出の中でもポリオプラスは特別枠として161億円（45%）投入しています。RIが最優先に公共イメージ向上のソースとして強く推奨するのはこの為です。

また、財団には夫々のクラブのアイディアで活用できる地区補助金もあります。この研修で夫々の申請手続きや活用制限の説明をします。重点分野と結びつくクラブ活動を意識しながらオリジナルな活動にも挑戦し良循環を構築していきましょう。

ガバナー伊藤智仁



ロータリー財団からのお願い

ロータリー財団委員長 菅原 一博

2020年の今年は、日本におけるロータリークラブが東京に1920年10月に誕生してから、100年という特別の年であります。

日本のロータリークラブは、これまで幾多の変遷を辿り、各分野で使命を果たし貢献して参りました。現在は五大奉仕の理念を推奨し、より良き社会を目指し活動しております。

この活動において、当地区では私がガバナーであった2011年に東日本大震災により未曾有の被害が発生した際には、ロータリー財団並びに世界中のロータリアンの皆様から多大なご支援を頂きました。ロータリーの絆を実感した忘れられない出来事でございます。

今、世界は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、脅威となっております。全世界で経済や雇用が悪化するなど様々な影響が出ており、収束の兆しが見えない大変厳しい状況下にあります。

ロータリー関係におきましても、2020年開催予定の国際大会はじめ多くのイベント・行事が中止となっておりますので、特效薬などによる一日も早い終息を願っております。

このような中、当地区での財団の活動におきましては、新型コロナウイルスに関連します救援補助金の事業も多くなっているほか、他のニーズも多様化するなど財団に寄せられる期待は大きく、これらに応えていくことが大変重要な役割と考えております。

地区財団委員会といたしましては、基金を提案され、ロータリー財団を創設されたアーチC・クランプ会長の『誰かのために“よいこと”をする喜びのため』を旨とし、人道支援やグローバル事業と地域貢献事業等の推進のため、ロータリーの慈善部門として、財団が有効に活用されるよう取り組んで参ります。

皆様方には、引き続き財団活動の原資となりますご寄付のご支援と、ロータリーの使命を果たす各種事業等にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



ロータリー財団について

ロータリー財団副委員長 山口 淑子

ロータリー財団とは 歴史、寄付、認証、について

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕すること、高潔性を促進すること世界理解、親善、平和を推進(advance)することである。

ロータリー財団の使命は世界理解、親善、平和を達成できる(enable to advance)ようにすることである。

ロータリー財団の役割は国際ロータリーの承認を得て、目標を実現していくことである。

ロータリー財団

「世界でよりよいことをするために」



1917年、当時の会長アーチ・C・クランプがアトランタの国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案。

これが、ロータリー財団をつくるきっかけとなった。

ロータリー財団の標語

(Motto of The Rotary Foundation)

世界でよいことをしよう

ロータリー財団の歴史・年表

- 1917年 アトランタで開かれたロータリー国際大会で国際ロータリー会長アーチ・クランフが「世界でよいことをする」ための基金の設立を提案。
- 同年 カンザス・シティロータリークラブから最初の寄付26ドル50セントが基金に寄せられる
- 1928年 ロータリー財団と正式に命名され、初代管理委員が任命される。
- 1930年 国際障害児協会（Easter Seaisの前身）へ500米ドルを送り、これが財団の補助金第1号となる

- 1947年 ロータリー創始者、ポール・ハリスが逝去。
その後18ヶ月間にハリスを追悼する寄付100万ドル以上が
財団へ寄せられた。
- 1947年 ロータリー財団初のプログラムとして「高等教育のための
ロータリー財団奨学金」を開始。
- 1951年 アーチ・クランフ逝去。財団は300万ドル近くまで成長。
- 1957年 ポール・ハリス・フェローの認証を開始。
- 1962年 「技術研修のための奨学金」(後の職業研修奨学金)の
授与を開始。
- 1963年 カールPミラーRI会長が「組み合わせ地区」プログラムを
開始。
- 1965年 財団への年間寄付総額が初めて100万ドルを超える。

- 1965年 「研究グループ交換(GSE)」、「特別補助金(後のマッチング
グラント)」、「技術研修プログラム」開始
- 1978年 「保健、飢餓追放および人間性尊重補助金」プログラムを創設
- 1980年 フィリピンの600万人以上の子どもにポリオ予防接種実施。
- 1980年 全世界でポリオを撲滅する目標年を2005年とすることを提案、
規定審議会が「予防接種によってポリオを撲滅する」という立法
案を承認。
- 1981年 「世界理解と平和のための基金」を設立。
- 1981年 計画寄付と年次寄付に関する地区リーダーのための研修会、
「ロータリー財団地域セミナー」(当初の名称は「財団開発研修
セミナー」)を開始。

- 1983年 ロータリー財団が法的に信託から非営利法人に変更される。
- 1985年 「ポリオプラス」と「大学教員のための補助金」プログラムを開始。
- 1988年 フィラデルフィアでの国際大会にて、ポリオプラス・キャンペーンが、2億2000万米ドル近くを集めたことを発表。
- 1988年 この募金キャンペーンの成功を受けて、世界保健総会が全世界ポリオ撲滅の目標を定め、「世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)」を開始。
- 同年 財団が米国イリノイ州エバンストンで第1回「ロータリー平和フォーラム」を開催。

- 1991年 ロータリアンが海外に渡航して補助金プロジェクトを計画するための「カールP.ミラー助成金プログラム」を開始。
- 1993年 GPEIを通じてポリオ予防接種を受けた子どもが5億人を突破。
- 1994年 西半球のポリオフリーが宣言される。
- 1998年 1年限りのプログラム「子供達のための機会補助金」実施。
子どもたちを援助するプロジェクト1600件近くを支援。
- 1999年 ロータリー平和センターを創設。ロータリー平和フェロー第1期生が2002年より留学を開始。
- 1999年 ロータリー財団管理委員会が、財団に1万米ドル以上の遺贈した寄付者を認証する「遺贈友の会」を創設。

- 2000年 西太平洋地域のポリオフリーが宣言される。
- 2002年 ヨーロッパ地域のポリオフリーが宣言される。
- 2002年 ビル＆メリンダ・ゲイツ財団から「世界保健のためのゲイツ賞」として100万米ドルがロータリー財団に授与される。
- 2004年 財団に25万米ドル以上寄付した個人、妻、組織を認証する「アーチ・クランフ・ソサエティ」を創設。
- 2004年 補助金モデルを更新する必要性を財団管理委員会が認識し、後の「未来の夢計画」となる構想に着手。

- 2006年 100万人目のポール・ハリス・フェローが認証される。
- 2007年 ポリオ撲滅資金を集めるため、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団がロータリーに対して1億米ドルのチャレンジ補助金を授与。
- 2009年 ビル＆メリンダ・ゲイツ財団がポリオ撲滅活動のため、さらに2億5500万米ドルをロータリーに授与。前述のチャレンジを2億米ドルに引き上げ、ロータリーが集めた資金1米ドルごとに米貨3ドル55セントが上乘せされることになった。
- 2009年 飲料水や衛生施設・環境の改善のため、ロータリーとUSAIDが協同で「国際H2O協力」を発足。

- 2010年 3年間にわたり100地区が新しい補助金モデルを試験する。
夢資金段階を開始。この補助金モデルは(新)地区補助金、
グローバル補助金、パッケージ・グラントの3種類で構成される。
試験段階の一環として、地区による職業研修チーム(VTT)の
派遣・受け入れ、ロータリーの6つの重点分野にそった
プロジェクトの実施も行われた。
- 2012年 2009年に始まったビル＆メリンダ・ゲイツ財団の2億米ドル
のチャレンジに対して、ロータリーが目標額を上回る2億2800
万ドルの募金に成功。
- 2012年 1年間ポリオ無発生を達したインドが、ポリオ常在国の
リストから除外される。

- 2013年 ロータリーがポリオ撲滅のために集めた資金に対して、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額を上乗せすることを発表(5年間、年額3500万米ドルまでの寄付が対象)
ロータリーは「End Polio Now:歴史に1ページを刻もう」キャンペーンを実施して募金に挑戦。
- 同年 未来の夢試験段階が終了。新しい補助金モデルが全世界に導入される。マッチング・グランド、(旧)地区補助金、国際親善奨学金、GSEは廃止される。財団は、未来の夢計画の革新的な資金モデルに対して「エジソン賞」銀賞を受賞。
- 2014年 東南アジア地域のポリオフリーが宣言される。

2017年 ロータリー財団100周年

財団100周年の幕じめとなるアトランタ国際大会で財団生誕の地での祝賀会開催、ロータリーをはじめ寄付国、寄付団体がポリオ撲滅に多額の寄付をする約束をした。

ロータリーのポリオ撲滅寄付に対してビル＆メリンダ・ゲイツ財団が倍額を上乗せにしてきたマッチングを継続し、7月1日から向こう3年間、年間5000万米ドルまでをマッチング対象とすることを約束した。

- * その後、ロータリーとビル＆メリンダ・ゲイツ財団は、2020年1月22日、ポリオ根絶に年間1億5000万ドルを投入するための長期パートナーシップを継続することを発表しました。この提携の下、ロータリーは今後3年間、毎年5000万ドルを拠出することを目標に掲げ、ゲイツ財団がロータリーの拠出金に対して2倍額を上乗せすることとなります（『RI日本事務局 財団室NEWS 2020年2月号』p.1 より掲載）。

財団の3つの寄付

年次基金

毎年全会員(EREY)にお願いする基金。
3年運用し、その全てが事業に使われる。

恒久基金

元金を使わず、運用収益を翌年度の活動に使用。

使途定寄付

ポリオプラスや災害復興等プログラム、グローバル補助金、平和センターへの寄付等指定した事業に使われる。

財団への寄付金

- ① **年次基金寄付**は、3年間資金を運用して、その運用益は財団の運営費に使われます。元金は3年後に全額を地区と財団で使います。
- ② **恒久基金寄付**は、元金は使いません。
運用益のみを地区と財団で使います。
- ③ **ポリオプラスに指定して寄付した寄付金**は、ポリオ撲滅のために全額が使われます。
- ④ **グローバル補助金のクラブで拠出する部分の寄付金**は指定されたグローバル補助金プロジェクトに使います。
現金寄付のWF50%上乗せは2020年7月1日より廃止され、DDFへの上乗せ(同額1対1)のみとなります。
- ⑤ **ロータリー平和センターに対する寄付金**は、全額がロータリー平和センターのフェローシップのために使われます。

本年度の寄付の目標

年次基金

目標 \$ 150/US

恒久基金

ベネファクター各クラブ1名以上。(恒久基金へ\$1,000以上寄付された人をベネファクターとして認証)

使途定寄付

ポリオ撲滅 ポリオプラス基金一人当たり30ドル(日本全体で約270万ドル)

個人寄付の認証

財団の友

年次基金に毎年100ドル以上寄付をする方

ポール・ハリス・フェロー

年次基金・ポリオプラス・WF等へ累計1,000ドル以上の寄付。さらに累積するとマルチプル・ポール・ハリス・フェロー。

ベネファクター

恒久基金へ1,000ドル以上の寄付

大口寄付者

寄付分類に関係なく累計が10,000ドルに達した方。

アーチ・クランフ・ソサエティー

寄付分類に関係なく累計が25万ドルに達した方。

ポール・ハリス・ソサエティー

毎年1,000ドル以上の寄付をした方（年次基金・ポリオプラス・承認されたグローバル補助金）

クラブの認証

「Every Rotarian, Every Year」クラブバナー

正会員全員が 年次基金25ドル以上、一人当たりの平均寄額が100ドルに達しているクラブに贈られます。

100%ロータリー財団寄付クラブバナー

正会員全員が、寄付分類に関わらず少なくとも 25ドル の寄付をして、一人当たりの平均寄付が 100ドルに達しているクラブ贈られます。

100%ポール・ハリス・ソサエティクラブ認証バナー

正会員全員が、1年度中に合計1,000ドル以上を寄付したクラブに贈られます
(対象:年次基金、ポリオプラスおよび財団が承認した補助金プロジェクト)。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ認証バナー

正会員全員がポール・ハリス・フェローのクラブに贈られます。

年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

各地区内で、1年度で一人当たりの年次基金への平均寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られます(一人当たり平均寄付額最低50ドル)。

クラブの認証バナー



年次基金への一人当たりの
寄付額上位3クラブ



100%ポール・ハリス・フェロー
クラブ認証バナー

世界の国別会員数(2020年8月30日現在 My Rotaryより)

順位	国名	会員数	クラブ数	会員/クラブ
1	United States (アメリカ)	297,147	7,482	39.7
2	India (インド)	146,445	3,673	39.9
3	Japan (日本)	86,315	2,238	38.6
4	Korea, Republic of (韓国)	63,335	1,665	38.0
5	Germany (ドイツ)	56,696	1,094	51.8
6	Brazil (ブラジル)	52,381	2,401	21.8
7	Italy (イタリア)	38,796	910	42.6
8	England (イギリス)	32,698	1,309	24.9
9	Taiwan (台湾)	32,714	894	36.5
10	France (フランス)	29,189	1,072	27.2

日本12,593万人、韓国 5,127万人、台湾2,360万人

6.85人/万人 12.35人/万人 13.86人/万人

日本の2020-2021年度の財団目標について

年次基金 *1人当たり150ドル

(日本全体約1,350万ドル)

*年次基金寄付ゼロクラブ0達成を継続する

ポリオプラス基金 *1人当たり30ドル

(日本全体約270万ドル)

恒久基金 *冠名基金を各地区1件以上設立

大口寄付 *寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上

のご寄付を日本全体で100件

*AKSを日本全体で10名増やす 中期目標として
2～3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す

DDFの活用 * DDFの20%をポリオプラスへ寄贈

DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。

*** ロータリー平和センター、重点分野への寄贈**

「日本ロータリー平和センター基金（E11659）」の累計が、150万ドルに達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます。

*** 各地区がDDFを使い切る**

補助金活動 * グローバル補助金・地区補助金の活用の促進

*** ロータリー平和フェローシップの推進**

ロータリー財団の標語

(Motto of The Rotary Foundation)

世界でよいことをしよう

2020-2021年度もよろしくお願いいたします



補助金申請

(地区補助金・グローバル補助金)

補助金委員長

梶浦 正

地域のニーズを

クラブの参加資格認定

- 補助金セミナーへの出席（本スライドの確認）
- 署名の入った「クラブの覚書（MOU）」を提出（クラブ会長及び会長エレクト）
- 財団年次寄付を行なっている事（いわゆる“寄付ゼロ”クラブは資格がありません）

補助金申請にあたっての主な注意点

1. 承認後にプロジェクトを開始すること。承認前に経費が発生してはならない。 ※1
2. 地区補助金からの資金を利用したプロジェクトと活動はすべて、財団が支給してから24カ月以内に完了する必要がある。 ※2
 - ➡ 継続事業不可。同じ事業を繰り返してはいけません。
3. 現ロータリアンは補助金の受領者または受益者になってはならない ※3
 - ➡ ロータリアンが業者として受注、交通費、食事代などを受けることはできません。ただし、特別な理由がある場合は事前にご連絡ください。
4. 補助金は、補助金支払い時のRレートに従って支給される。 ※4
5. 補助金資金を受け取るには、専用口座を設けなければならない。 ※5

参照：『ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件（2020年9月）

[file:///C:/Users/User/Downloads/Rotary_Grants_terms_conditions_ja%20\(5\).pdf](file:///C:/Users/User/Downloads/Rotary_Grants_terms_conditions_ja%20(5).pdf)』

※1：同上 p.2「Ⅱ. 受領資格の指針 5.」 ※2：同上 p.12「Ⅸ. 報告要件と書類の保管 地区補助金 2.」

※3：同上 p.16「ⅩⅢ. プログラム参加者のための利害の対立に関する指針 補助金の受領資格」

※4：同上 p.10「Ⅷ. 支払い 地区補助金、グローバル補助金」 ※5：『クラブの参加資格認定：覚書(MOU)』「4. 銀行口座に関する要件」

地区補助金

1. 活動の種類

●人道的プロジェクト

(奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など)

●奨学金

(教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし)

●青少年プログラム

(ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム [RYLA]、ローターアクト、インターアクト)

●職業研修チーム(VTT)の派遣

(現地の人びとに研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチーム)

地区補助金

2. 地区補助金の申請手続き

- 「21-22年度 地区補助金」はガバナーエレクト事務所（仙台）が窓口となります。
- 申請を希望されるクラブはガバナーエレクト事務所（仙台）にお問合せの上、申請書、予算書（見積書）をご提出ください（2021年2月26日締切）。

グローバル補助金

1. 概要

グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野※1に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援するものです。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。

※1「6つの重点分野」:

- ① 平和構築と紛争予防 ② 疾病予防と治療 ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康 ⑤ 基本的教育と識字率向上 ⑥ 地域社会の経済発展

「環境の保全」という新たな重点分野

ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、上記に加え、「環境の保全」という新たな重点分野を追加しました。グローバル補助金プロジェクトのための補助金申請は 2021年7月1日から受付を開始します。

グローバル補助金

2. 活動の種類

グローバル補助金は、次のような活動に使用できます。

- 人道的プロジェクト
- 奨学金：大学院レベルの留学
- 職業研修チーム(VTT)：専門職業に関係するチームや、研修を受けるチームの受け入れ、または派遣

グローバル補助金

3. 支給額と支給方法

- 予算30,000ドル以上のプロジェクトが対象。
- 地区財団活動資金(DDF)には同額(1対1)の国際財団活動資金(WF)が上乘せされます。
従ってDDFで15,000ドルを用意出来ればプロジェクトの成立要件は達成されます。
※ 現金拠出に対するWFの上乘せは2020年7月1日より停止しております(上乘せ無しでの現金拠出は可)。
- その他、他地区や他クラブからの支援を上げばもっとバラエティに富んだ資金を用意することができます。

グローバル補助金

4. グローバル補助金の申請手続き

- グローバル補助金の申請はDDFを使用しますので、事前にガバナー事務所にお知らせください。
「グローバル補助金DDF申請書」の提出と My Rotary (RIホームページ)にてオンライン申請が必要です。
- **2022年7月から**、ローターアクトクラブも代表提唱者としてグローバル補助金を申請できるようになります。

グローバル補助金

5. 申請書の提出にあたってのヒント

申請書が承認されるには、以下の要件が明確に記載されていなければなりません。

- 持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後にも活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- 測定可能な目標を持っていること
- 6つの重点分野のいずれかに該当すること
- 地域社会のニーズに応えること
- ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- 補助金の「授与と受諾の条件」に記載された要件を順守すること

グローバル補助金は、年度を通じて随時受付しておりますが、奨学金（8～10月に留学開始）の場合、申請締切は6月30日となります。

グローバル補助金

6. モニタリングと評価、持続可能性について

プロジェクトのモニタリングと評価はグローバル補助金プロジェクトにおける重要な要素です。適切なモニタリングと報告を行うことで、地域社会にとって好ましい変化をもたらしたことを確認できます（「持続可能性」）。

- ◎地域社会のニーズと強みを調査する。
- ◎恩恵を受ける人々に関与してもらう。
- ◎研修、教育、呼びかけを行う。
- ◎現地で物資を調達する。
- ◎現地の資金源を確保する。
- ◎モニタリングと評価を欠かさない。

グローバル補助金

7. 注意していただきたいこと

報告書提出、資金提供等の義務を怠ると、新たな補助金が承認されないだけでなく、進行中のプロジェクトの実施もできなくなることがあります。

- 数年前、ある海外の地区・クラブとのプロジェクトを実施中にロータリー財団から「**資金凍結**」の通知が来ました。その原因を調べてみると、相手地区が行っていた別のプロジェクトの最終報告書に瑕疵があったことが分かりました。
その結果、相手地区だけでなく当地区も連帯責任を問われ、**2～3ヵ月活動休止**に追い込まれました。
- 相手地区とはプロジェクトの実施や資金管理の事だけでなく、報告書の提出などのオンライン手続きまでキチンと行うとの事前確認（「覚書の締結」）、常に密接な情報交流をする事が求められます。
また、相手地区にしっかりとした協力団体（NPOなど）があるかを確認しておくことも大切です。

補助金報告書の提出

地区補助金及びグローバル補助金は、お金が関わるものですから、報告書の提出が義務付けられています。

- 地区補助金は領収書を添付した最終報告書を地区に提出しなければなりません。地区はそれらを纏めて財団本部に報告します。その報告書が承認されて事業は完了します。
- 特に、グローバル補助金は海外の地区、クラブとの間の書類にオンラインでの確認作業が必要です。相手の地区、クラブが関連する事業に過失があると、連帯責任でペナルティを課せられることがあるので注意をすると同時に密なるコミュニケーションを取らなければなりません。

さいごに・・・

本日述べてきた補助金の財源は皆様方からの
年次寄付です!!!!

どうか1人でも多くの寄付金を、

1円でも多くの寄付による支援をお願いします。



資金推進

資金推進委員長

田鎖幸司

資金推進

資金推進委員会 田鎖幸司

3-1

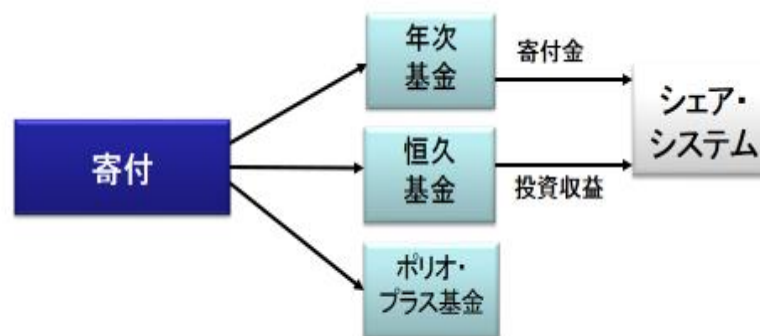
研修目的

- シェアシステムを理解する。
- 3年周期の仕組みについて説明。
- 地区財団活動資金(DDF)をプロジェクトに使用するにあたり、
- クラブが地区リーダーと協力する方法を理解する。

寄付は3種類

- 年次基金(年次寄付—Share 対象)
財団事業の資金となる。
- 恒久基金(高額寄付—1万\$から)
(地区—橋本基金、高橋基金、菅野基金)
冠名基金。平和フェロー基金
投資利益のみを使用する(元金、Shareへ配当、経費)
- ポリオ・プラス(ポリオ撲滅限定資金)
ビル・ゲイツ財団より倍額支援
ポリオ・プラス委員会との協調

財団資金の仕組み

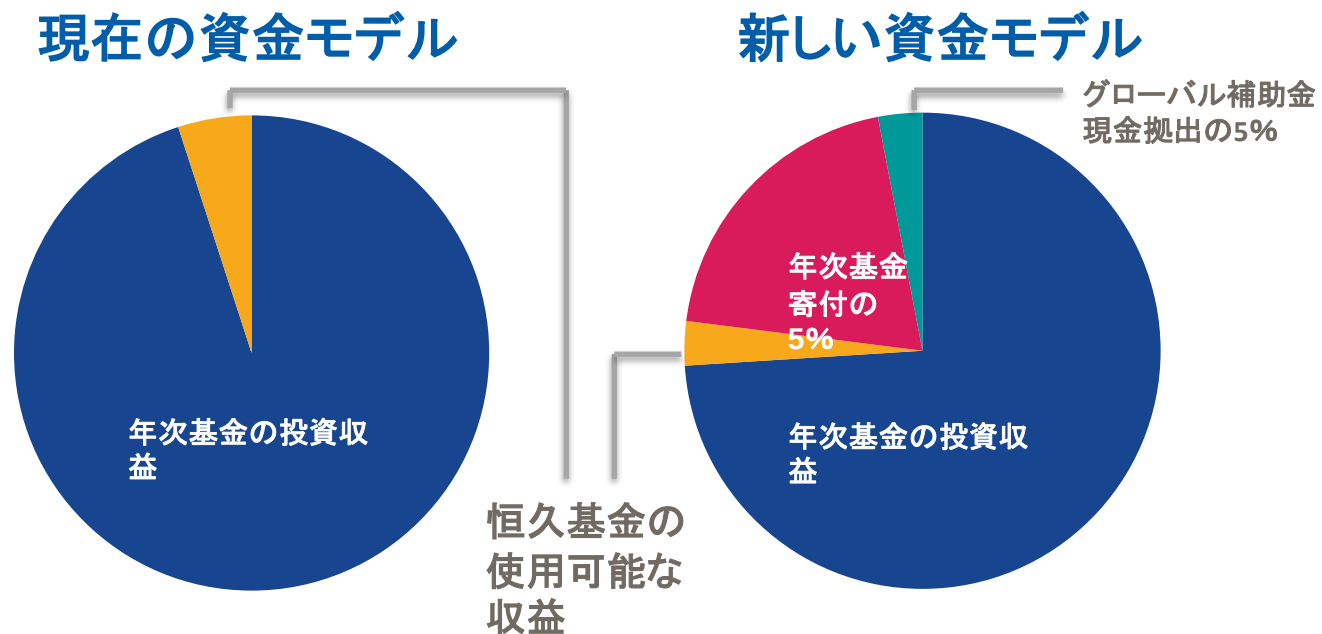


THE ROTARY FOUNDATION



地区ロータリー財団セミナー

財団運営費の新しい資金モデル 既に2015年7月1日から有効

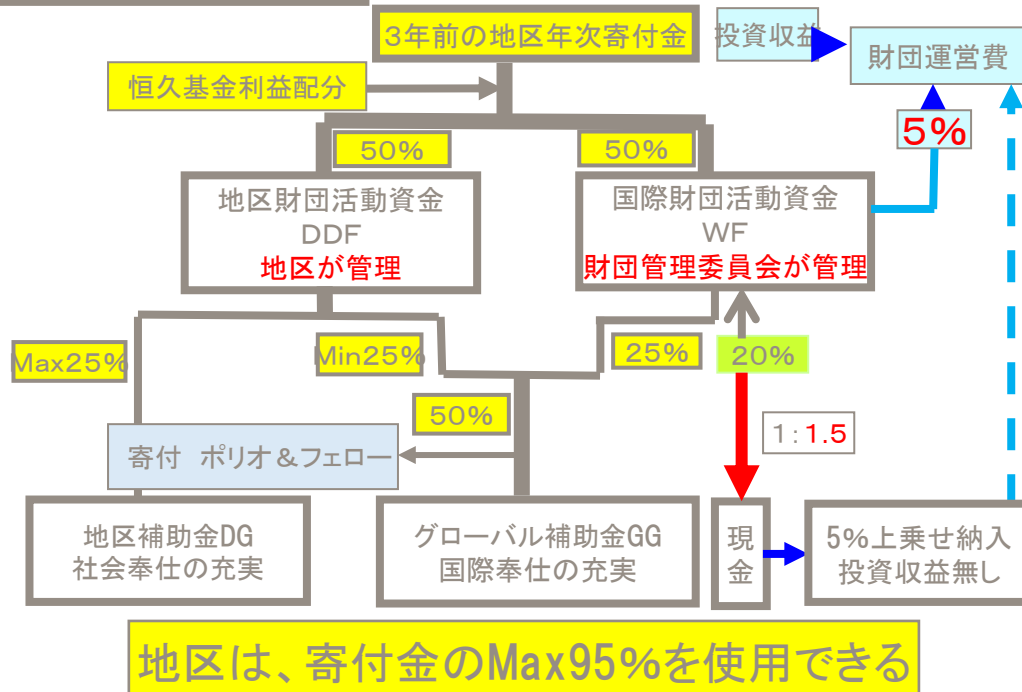


新しいシェアシステム 2015年7月1日から有効



シェアーシステム

3-3



恒久基金の投資収益

管理委員会が、投資収益からの使用率を決定。
地区が寄付を恒久基金(シェア)に指定した場合、
次のように分配される

- 50%がWF
- 50%が地区のDDF

2520地区現在高(2020.8.20現在)

橋本基金	\$228,073.09	グローバル奨学金
高橋基金	\$ 36,286.06	平和フェロー
菅野基金	\$ 27,426.45	母子の健康

地区ロータリー創設セミナー

2つの資金

- ・ DDF (地区財団活動資金) ・ WF (国際財団活動資金)
 - 地区が活用方法を決定
 - 地区内のロータリアンが使用
 - 財団の補助金やプログラムに活用
- 管理委員会が活用方法を決定
 - 全世界のロータリアンが使用
 - 財団の補助金やプログラムに活用

THE ROTARY FOUNDATION



地区ロータリー財団セミナー

SHARE Balances

第2520地区DDFの金額

3-6

2020.8.20現在

3年前の地区寄付×1/2

Program Year: 2021 (2020-21)

81,840.24 \$

District	Starting 0. Balance (17-18)	1. Amount 前年恒久基金配当	2. Amount 繰越(19-20) + (GG調整)繰越分	3. Amount + 恒久基金配当	4. Amount 事業予算	5. Balance (0 + 1 + 2 + 3 - 4 = 5)
2520	81,840.24	+ 10月	+ 204,558.31	+ 46,013.76	- 10月 - 127,854	= 204,558.31

DG72,854.00 \$ (奨学金11,818 \$), GG 108,000 \$ (奨学金-40,000 VTT、人道-15,000), 寄贈 \$ (ポリオ、平和-1)

投資配当金 \$(10月頃確定)

(橋本、高橋、菅野 元金 207,345.45 \$ ⇒ 評価 291,767.60 \$)

地区補助金予算 Max 72,854.00 \$

グローバル補助金予算 \$(Max \$)

将来を見込んだ予算を考慮する。

地区財団寄付状況

3-7

2020年6月末日現在 (8/20暫定)

地区年次寄付 76.62 \$/人 日本平均 (集計中) \$。世界平均 (集計中) \$

地区年次寄付総額 163,304.79 \$ 日本34地区 平均 (集計中) \$

年次寄付0クラブ 地区 0/77(0%) 日本 3/2,247(0%) 2020/6末日

R年度(使用)	2022-23	2019-20	2020-21	2021-22
寄付年度	2019-20	2016-17	2017-18	2018-19
年次寄付額	163,304.79 \$	211,786.77 \$	165,129.24 \$	184,816.28 \$
クラブ最低	122 \$	25 \$	26 \$	26 \$
0クラブ	0	0	0	0

**19-20年度は、地区内77クラブのご協力により、
年次寄付0クラブは、前年度に引き続き0となりました。**

募金と認証

3-8

ロータリー財団はロータリアンの財団

- ロータリアンが所有する財団
- 世界の最も切実なニーズに応える
- 世界における活動範囲は国連を超える
- 政府や宗教グループの支援が行き届かないところで支援



ポリオ・プラス基金

ポリオ撲滅



年次基金

今日を支える



恒久基金

明日を支える

年次基金

3-10



EVERY
ROTARIAN
EVERY
YEAR

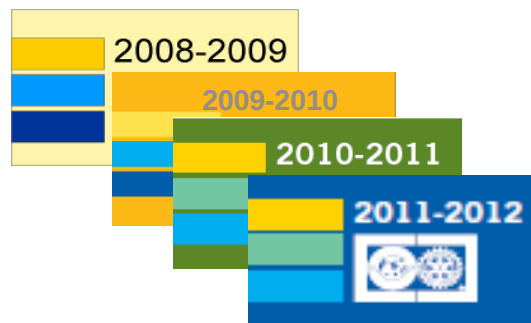
150 \$ / 人 会員100%の参加を目指す

シェア・システムを通じて補助金とプログラムを支援
寄付は寄付者と寄付者のクラブのものとして扱われ、
クラブ目標に算入される。

「財団の友」会員

3-11

年次基金に毎年100ドル以上を寄付



ポール・ハリス・フェロ

1,000ドルを寄付したロータリアン
又は、
1,000ドルの寄付の名義人



ポール・ハリス・ソサエティ

3-12

財団の年次基金、ポリオ・プラス、
又は、承認された補助金プログラム
に毎年1,000ドル以上を寄付

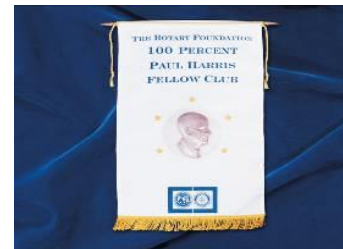


クラブ・バナーの認証

3-13



一人当たりの平均
寄付額上位3クラブ



ポール・ハリス・フェロー
100%クラブ

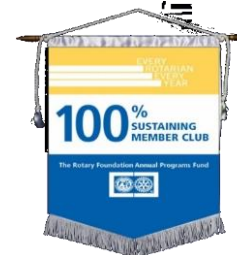
「毎年あなたも100\$を」

100%クラ
ブ



「財団の友」会員

100%クラブ



100ドルの寄付で実現できること

- ・ タンザニアの女性と子供たちに蚊帳50枚
- ・ 中国の高校生ホンジュラスの小学校に机を2台
- ・ の学費1年分

1,000ドルの寄付で実現できること

- ・ メキシコ原住民の子供たちに歯科治療を行うための
歯科用携帯いす1台
- ・ ナイジェリアの眼科患者のための眼鏡400本
- ・ 家族を養う23人のフィリピン女性を支援するための
マイクロクレジット (小額融資)

10,000ドルの寄付で実現できること

- メキシコの農村地域のために修理済み中古スクールバス3台
- スーダンの障害児のための職業訓練センターにパン製造機
- ハイチの村に井戸2基

60,000ドルの寄付で実現できること。

- 専門能力開発修了証取得のための冠名ロータリー世界平和フェローシップ最高5名分

75,000ドルの寄付で実現できること

- ロータリー平和センターにおける2年間の修士課程で、平和研究や紛争解決の分野を研究するロータリー平和フェロー1名分のフェローシップ(奨学金)

恒久基金

3-16

- ・ 寄付により支えられている基金
- ・ 恒久的に投資
- ・ 投資収益のみ使用



冠名の機会

- 25,000ドル: シェアまたはWFを支援
- 50,000ドル: ロータリー平和センターへの全般的支援
- 100,000ドル: いずれかの重点分野への全般的支援
- 250,000ドル: 寄付者の地区によるグローバル補助金の支援、またはロータリー平和フェロー(専門能力開発修了証コース)を支援する基金
- 500,000ドル: 重点分野と地理的な場所を指定、またはロータリー平和フェロー(2年間の修士課程)を支援する基金
- 1,000,000ドル: 寄付者の希望に合わせて詳細を決定

ベネファクター

- ・ 少なくとも1,000ドルの遺贈の受益者としてロータリー財団を指定することを遺言または資産計画に記した寄付者
- ・ 恒久基金に1,000ドルの無条件寄付をした寄付者

遺贈友の会

- ・ 遺産計画において財団を1万米ドル以上の遺贈の受益者と指定した寄付者
例：生前遺言、生命保険

大口寄付者

3-19

- ・ 財団に個人的に1万米ドルの現金寄付をした寄付者
(1万\$到達⇒メジャードナー、本年度2万5千\$推奨)
- ・ 現金、遺贈、生涯年金契約 不動産、有価証券

アーチ C. クランフ・ソサエティ

- ・ 管理委員サークル: 250,000ドル以上
- ・ 管理委員長サークル: 500,000ドル以上
- ・ 財団サークル:
1,000,000ドル以上





ポリオ・プラス

ポリオ・プラス委員長

山口 淑子



1985年ポリオプラスを開始したとき

プラスの意味は・・・5種類の伝染病への予防注射

はしか 結核 ジフテリア
百日咳 破傷風

いま ポリオ絶滅の最大のチャンス

“この世からポリオをなくそう”

ロータリーは緊急かつ最優先事項とした



日本におけるポリオ撲滅

1960年～1961年 北海道を中心に大流行 6500人が発症
生ワクチンを緊急輸入し一斉投与

1963年 発症は100人以下に激減する
ワクチン投与を続ける

野生株によるポリオの発症なくなる
生ワクチンの一斉投与 効果大

2000年 ポリオ根絶をWHOが確認

2012年9月 生ワクチンを副作用の少ない
不活化ワクチンに替える



ロータリーの撲滅活動の推移

- ・ 1979年 フィリピンで600万人の子供にポリオの免疫活動実施
大きな成果を挙げる
- ・ 1985年 創立80周年に当たり 5年計画の「ポリオプラス計画」を発表
- ・ 1986年 募金キャンペーンを開始
日本のロータリーは目標額40億円を超える**49億円を集める**

その後 ロータリーは国際社会の先頭になり予防接種に尽力するが
想像を超える多額な資金が必要となる

- ・ 2007年 ビル＆メリンダ・ゲイツ財団から1億ドルの寄付
- ・ 2009年 ゲイツ財団の2億5,500万ドルと5,000万ドルの寄付に呼応し
「ロータリーの2億ドルチャレンジ」を実施



ポリオを撲滅するための共同団体

- ・ 国際ロータリー



- ・ WHO(世界保健機関)



- ・ CDC(米国疾病対策センター)



- ・ UNICEF(国連児童基金)



- ・ ビル&メリンダ・ゲイツ財団

BILL & MELINDA
GATES foundation

など...



野生株によるポリオ症例数

※「財団室NEWS 2020年9月号」より抜粋

		2020年 1月1日～ 8月26日	2019	2018	2017
常在国	パキスタン	67	147	12	8
	アフガニスタン	37	29	21	14
世界合計		104	176	33	22

2020年8月25日にWHOアフリカ地域の野生型ポリオ根絶が認定されました。

残るは南アフリカの2国（パキスタン、アフガニスタン）です。

スラム街での投与チーム



ポリオの生ワクチン

大きな口を開けてア～ン！



大船渡西RC 高木久子 会員



インド(デリー)に於いてワクチン一斉投与
(2013年2月24日)



弘前アップルRC 関場慶博PDG
超我の奉仕賞受賞(2016年7月9日)

2017年1月29日 NHKニュース

日本人医師ら60人がインドを訪問して子どもたちにポリオのワクチンを投与する様子が映し出された。

団長は弘前の関場慶博パストガバナー。

小児科医関場先生は2001年からほぼ毎年インドへワクチンの投与に行ってます。

初めは夫婦二人だけだった。(関場先生談)

現在は全国のロータリアンと家族 RAC IAC も参加。

2011年以来インドではポリオの発生がない

インド ポリオプラス 事務局長のコメント

こどもに投与したワクチンの1滴2滴は単なる1滴2滴ではない。

その子どもたちを一生を支える1滴2滴なのです。

どうぞ皆さん、来年もインドにおいで下さい。そして、この運動を続けてください。

ポリオ撲滅はロータリーの **最優先事項**

- ・ビル＆メリンダ・ゲイツ財団のビルゲイツ氏は、ポリオ撲滅は世界最大の功績のひとつになると述べた。
- ・RI会長ジョン・ジャーム氏は、ロータリーの寄付額を増加し今後3年間、毎年5000万ドルを集める目標を立てた。

2017年6月 アトランタ国際大会でのスピーチ

これからの取り組み

- ・地域のイベントなどを通して募金活動や広報活動などを実施する。
 - ・撲滅達成に向けた活動を広げる。
-
- ・地球上からポリオウイルスが見つからなくなるまで、総ての国で予防接種を続けなければならない。
 - ・**60円のワクチン**で一人のこどもを生涯ポリオから守ることができる。

★本年度地区目標(年間)★

3千円 / 一人

皆様のご協力をお願いします



補助金管理・M O U

補助金管理委員長

小野寺 則雄

＜セミナーで学んでいただくこと＞

「クラブの覚書(MOU)」の要件を順守できるよう、
以下の内容について理解を深めていただきます。¹¹⁻¹

- ☆ クラブが補助金の受領資格を得るための要件。
- ☆ ロータリー財団補助金の管理方法を理解する。
- ☆ 資金管理において求められていることを理解する。
- ☆ 財務管理と記録維持について最善の方法を学ぶ。
- ☆ 保管すべき書類は何かを知る。
- ☆ 報告要件について理解する。

< 2520地区における補助金受給資格要件について >

◆「2520地区ロータリー財団」では、各クラブの参加資格¹¹⁻²について、以下の項目が特に確認されています。

- 1) 財団セミナー(補助金管理セミナー)への出席が義務です。
- 2) クラブの覚書(MOU)を提出し認定を受けなければならない。
- 3) 財団の年次寄付額 0クラブは参加資格がありません。
- 4) 計画に従って明朗会計に徹すること。
不明朗会計は他クラブに迷惑が及ぶこともあります。

＜クラブの参加資格認定=覚書(MOU)」について＞

11-3

クラブと地区との法的な同意書であり、「財団補助金に係る事業および資金管理」を行うために、「クラブが適切な処置を取ることを求める」ものです。下記の内容を理解し事業を進めて下さい。

1. クラブの参加資格について
2. クラブ役員の責務について
3. 財務管理計画
4. 銀行口座に関する要件について
5. 補助金資金の使用に関する報告
6. 書類の保管について
7. 補助金資金の不正使用に関する報告義務について

1.クラブの参加資格について

11-4

◆クラブは、ロータリー財団補助金の活用にあたってロータリー財団から提供される「**クラブとの覚書(MOU)**」に記載されたプロジェクト及び財務と資金管理の要件を遵守し、1名以上のクラブ会員を地区主催の補助金管理セミナーに出席させなければなりません。

◆地区はクラブの参加資格 および 補助金の活用について、追加の要件を定めたり、義務づけることができる。

これらの条件をすべて満たすことにより、クラブの参加資格が認定され、ロータリー財団補助金プログラムにクラブが参加することが認められる。

A. 補助金は財団により承認された活動のみに使用できるものであり、承認前に終了もしくは進行中の事業は適用にならない。

11-5

また、承認後の計画変更は必ず変更計画書を提出し承認を得なければならない。

B. クラブが認定状況を維持するには、この覚書(MOU)、地区が定めた追加要件、その他該当するすべてのロータリー財団方針を順守しなければならない。

C. 資金の管理を誰が行ったとしても、クラブが提唱した
補助金資金の使用に対しては、クラブが責任を負う。

D. 以下のような補助金資金の**不正使用**ならびに不適切な管理が確認された場合、**クラブの参加資格が保留、あるいは¹¹⁻⁶取り消し**となる場合がある：

◆不正、偽造、会員情報の改ざん、重大な過失、また受益者の健康、福利、安全を脅かす行為、不適切な寄付、私益のための資金使用、利害対立の未開示、個人による補助金資金の独占、報告書の偽造、水増し行為、受益者からの金銭の受領、不法行為、認められていない目的での補助金使用。

E. クラブは、いかなる財務監査、補助金監査、業務監査にも協力しなければならない。

2. クラブとの覚書(MOU)とクラブ役員の責務について

- ☆ クラブ役員は財団補助金の適切な使用について主要な責任を有する。 11-7
- ☆ 補助金管理、認定状況維持を担当するクラブ会員を最低1名任命する。
- ☆ 財団補助金が適切な資金管理の慣行に従って管理されるよう確認する。
- ☆ 補助金活動に関与する全ての人が、利害の対立や、対立があると認識される事態を避けるよう確認する。

3. 財務管理計画について(MOU)

- ☆ クラブは補助金の一貫した管理を行うために、書面で財務管理計画を作成しなければならない。
- ☆ 財務管理計画には、以下の手続きが含まれる。11-8
 - A. すべての**領収書と補助金資金**の支払いの記録を含め、標準的な会計基準にのっとり会計を維持する。
 - B. 必要に応じて、補助金の資金を支払う。
 - C. 資金の取り扱いは、複数の人で分担する。

- D. 補助金で購入した備品・設備やその他の財産の目録システムを確立し、補助金関連活動のために購入したもの、作られたもの、配布されたものの記録を付ける。
- E. 資金の換金等を含む全補助金活動が、現地の法律や規制を順守したものであることを確認する。

4. 銀行口座に関する要件(MOU)

補助金資金を受け取るには、ロータリー財団¹¹⁻¹⁰の補助金資金の受領と支払いのみを目的とする口座をクラブが設けなければならない。

- A. クラブの銀行口座は以下を満たしていること。
1. 資金の支払いには、クラブの少なくとも2名のロータリアンが署名人となること。
 2. 低金利、または無金利の口座であること
- B. 利子が生じた場合には、すべて書類に記録し、承認された補助金活動に使用するか、ロータリー財団に返還しなければならない。

C. クラブが提唱する各補助金につき、別個の口座¹¹⁻¹¹を開設し、口座名は、補助金専用であることが明らかに分かること。

D. 補助金は、投資用口座に預金してはならない。

これには、投資信託、譲渡性預金、債権、株の口座が含まれる(ただし、これらに限られるものではない)。

E. ロータリー財団補助金資金の受領および使用を裏付ける銀行明細書をいつでも提示できるようにしておかなければならない。

F. クラブは、署名人の交代に備えて、銀行口座の管理責任の引継ぎ計画書を作成し、保管しなければならない。

5. 補助金資金の使用に関する報告(MOU)

◆クラブは、ロータリー財団のすべての報告要件¹¹⁻¹²に従わなければならない。

補助金に関する報告を通じて、ロータリー財団は補助金の使用状況を知ることができます。このため、この報告は補助金の適切な資金管理の重要な部分になります。

◆管理委員会の指針に従って補助金を使用し、適切な資金管理を実践し、援助を最も必要としている人々のために生かす。また、資金を慎重に管理する事により、寄付者の信頼を高め、将来の寄付へと繋ぐことになります。

◆資金管理には以下が含まれる

- ☆ 補助金の授与と受諾の条件を守るため、十分かつ徹底的にこれを監督すること。11-13
- ☆ 財団から承認された通りにプロジェクトを実施すること。
- ☆ 現金での取引は極力控え、すべての取引記録を保管するなど、標準的な事業慣行にのっとること。不正経理があれば地区に報告し、適切な調査と解決が行われるようにすること。
- ☆ 補助金の使途を確認するため、不備なく正確な報告書を期限どおりに地区及び財団へ提出すること。

6. 書類の保管について

11-14

- ◆クラブは、参加資格認定とロータリー財団補助金に関連する重要書類を保存するための、適切な記録管理システムをつくり、これを維持するものとする。
- ◆これらの書類を保管することにより、補助金管理の透明性が保たれるとともに、監査や財務評価の準備に役立つ。

保管すべき書類(MOU)

1. 銀行口座に関する情報(過去の銀行明細書を含む)。
2. クラブの覚書(MOU)を含むクラブの参加資格認定に関する書類。
 - 3. 計画や手続きを記載した書類。これには以下が含まれる。
 - a. 財務管理計画書
 - b. 銀行口座署名人の引継ぎ計画書(多年度に亘る事業の場合)
4. 購入したすべてのものの**領収書と請求書**を含む補助金に関連する情報

5. クラブの記録は、クラブのロータリアンが、または地区が要請した場合は地区が、閲覧入手できるようにしなければならない。
11-16
6. 書類は、少なくとも7年間、もしくは国や地域の法律によってはそれ以上の期間、保管しなければならない(日本の場合、グローバル補助金奨学金に関する書類は10 年間保管しなければならない)。

7. 補助金資金の不正使用に関する報告について

補助金資金の不正使用や不適切な管理があった場合または
そう疑われる場合には、クラブはこれを地区に報告しなければ
ならない。このような報告により、補助金資金の不正使用
が絶対に許されないという環境をクラブ内に作り出すことが
できる。

＜覚書(MOU)承認と同意＞

この覚書(MOU)は、クラブと地区の間に交わされる同意書で
あり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な
管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものであ
る。

〇〇 ローターリー・クラブを代表し、下記署名人は、

〇〇〇～ 〇〇〇ロータリー年度、 この覚書(MOU)に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続に変更や修正があった場合には、国際ロータリー第2520地区に通知することに同意する。

クラブ会長エレクト

就任 〇〇～ 〇〇年度

氏名

署名

日付

クラブ会長ノミニー

就任〇〇～ 〇〇年度

氏名

署名

日付

補足事項

- ◆補助金が支出されて2ヶ月以内に関係資料(報告書・請求書・領収書・口座資料等)添付のうえ地区財団へ報告する。
- ◆完了報告書の**地区締切が該当年度の4月末厳守**となっています。



ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和フェローシップ委員長 橋浦 寛



ロータリー 平和フェローシップ





ロータリー平和センタープログラムにはビジョンがあります。それは、紛争予防と解決に取り組む平和活動家とリーダーのネットワークを通じた、**持続可能な平和**の構築です



ロータリーは、8つの著名大学と提携して、平和構築者のエンパワメント、教育、スキル向上に焦点を置いたロータリー平和センターを運営しています

8つの著名大学

- デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（合同で一つの平和センターを運営）（米国）
- 国際基督教大学（日本）
- ブラッドフォード大学（英国）
- クイーンズランド大学（オーストラリア）
- ウプサラ大学（スウェーデン）
- チュラロンコン大学（タイ）
- マケレレ大学（ウガンダ）

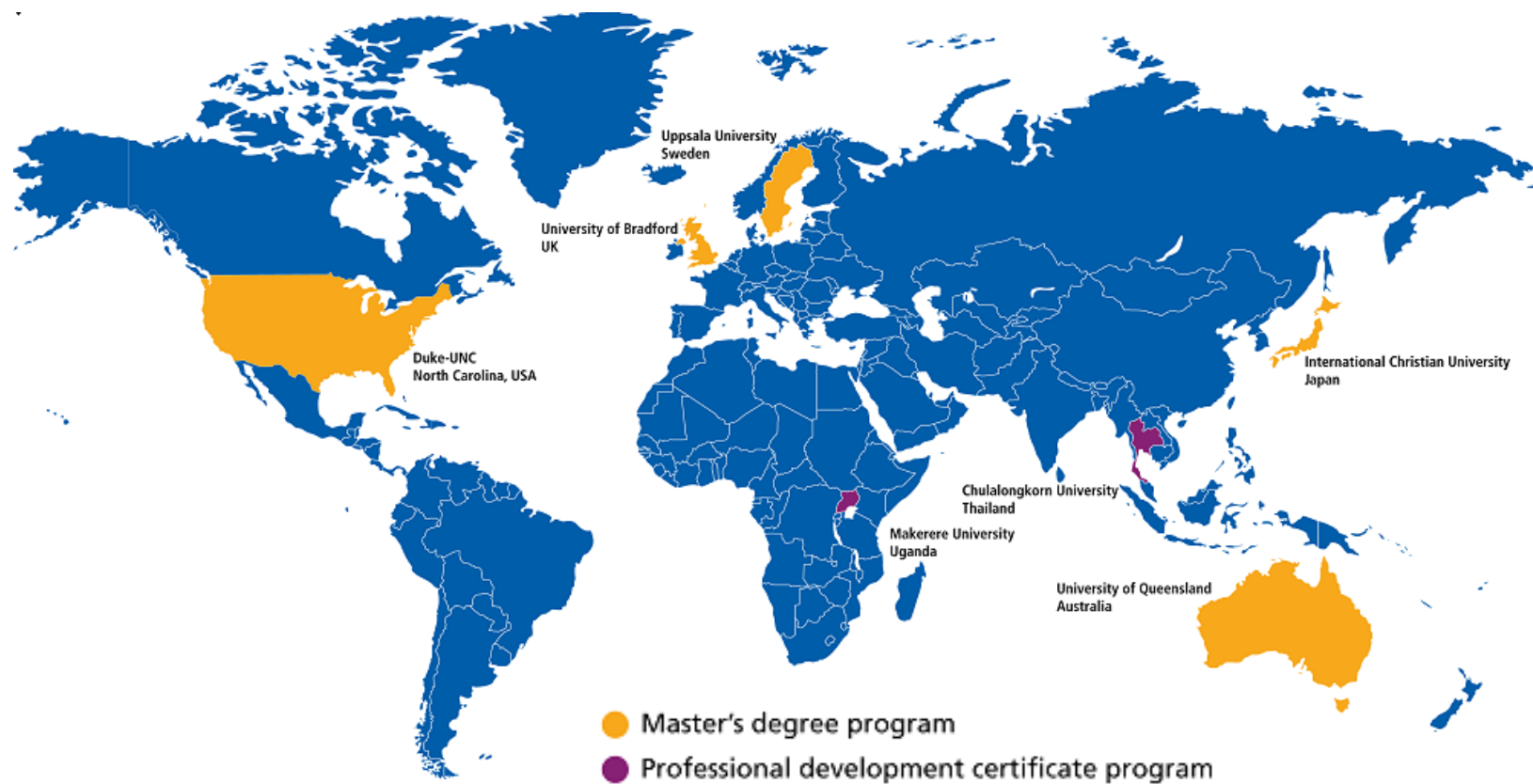


現在、ロータリー平和センターの卒業生は1,300人以上おり、115カ国以上で平和構築と開発の分野で活躍しています



平和センターのプログラム

ロータリー平和センター



毎年、最高130名の 平和フェローを選出



修士号プログラム:

- キャリア開始時期にあるリーダーが対象
- 毎年50名を選出(各センターで10名ずつ)
- 15～24カ月のプログラム

専門能力開発修了証プログラム:

- 平和と開発分野でリーダーシップスキルを発揮した経験がある人が対象
- 毎年80名を選出(各センターで20名x2期)
- 1年間のプログラム

修士号プログラム

主要要素



ACADEMIC TRAINING

Learn theories and approaches



APPLIED FIELD EXPERIENCE

Build practical skills



NETWORKING

Expand your global network



WORKSHOP SERIES

Develop professional skills



FINAL SEMINAR

Present your master's research



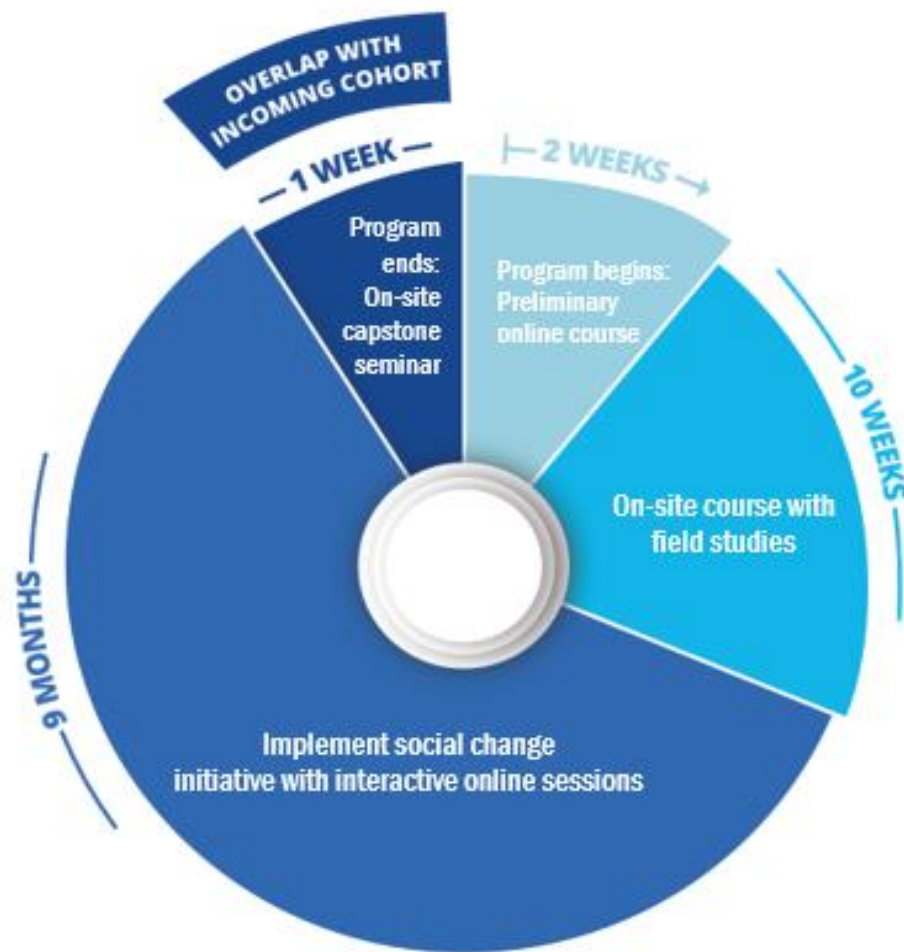
修士号プログラム 候補者の条件

- 英語に堪能であること
- 学士号を取得していること
- 異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること
- 優れたリーダーシップスキルを実証していること
- 関連分野において少なくとも3年間のフルタイムの職歴を有していること



専門能力開発修了証 プログラム

主要要素



専門能力開発修了証プログラム 候補者の条件

- 英語に堪能であること
- 学士号を取得していること
- 異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること
- 優れたリーダーシップスキルを実証していること
- 関連分野において少なくとも5年間のフルタイムの職歴を有していること
- 平和推進のための自分の計画がどのようにロータリーの使命と合致するかについて説明できること
- マケレレ大学平和センターの候補者は、この地域の出身者かこの地域で活動している者でなければならない。



フェローシップの資金

平均授与総額

修士号プログラム: 75,000米ドル

専門能力開発修了証プログラム: 11,000米ドル

修了証プログラムで賄われる費用

- 授業料
- 部屋代と食費
- 留学先への(留学先からの)旅費
- インターンシップの費用
- 学会／研究費用
- 保険
- 不測の事態の出費

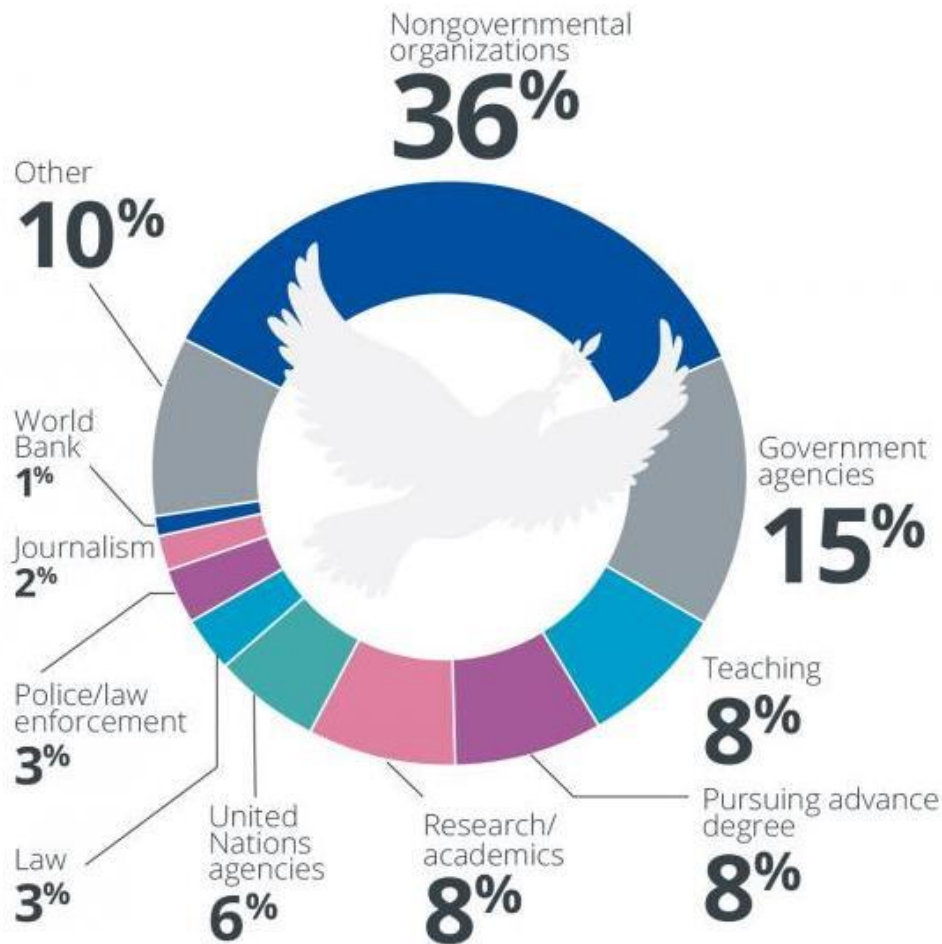
専門能力開発修了証プログラムで賄われる費用

- 授業料
- 学内の宿泊施設
- 留学先への(留学先からの)旅費
- 実地研修の経費
- コース資料
- 保険

A man with a friendly smile, wearing a blue button-down shirt and a black traditional Nepali cap (Dhaka), stands on a balcony. He is leaning his arms on a metal railing. The background shows a dense urban landscape with colorful buildings and distant mountains under a hazy sky. The text "平和センター学友" is overlaid in white on the right side of the image.

平和センター学友

Where Rotary Peace Center alumni work



プログラムの卒業生(学友)は、政府および非政府機関、教育と研究、国連機関、法執行機関と軍、人道団体、国際機関のリーダーとして活躍しています

エルサマリー・デシルバ (インド出身)

チュラロンコン大学(2016年)

Red Dot Foundation
創設者兼最高責任者
インド

「私は、自分の活動を実証したいと感じていたときにロータリー平和フェローシップ・プログラムに参加する機会を得ました。フェローシップから学んだスキルの中には、非暴力的な方法でのコミュニケーションスキルの向上が含まれます。私は平和フェローシップのコミュニティに支えられていると感じており、このコミュニティを通じて、世界中の平和フェローとつながることができます」



チャーリー・アレン (オーストラリア出身)

チュラロンコン大学(2020年)

Institute for Economics and Peace
パートナーシップ責任者
オーストラリア

「フェローシップは私の考えを広げ、新しい道筋を作り、新しいツールをもたらしてくれました。最も重要なのは、フェローシップを通じて人材とリソースの新しいネットワークを作ることができました」



ウィラ・チガガ (ザンビア出身)

デューク大学(2004-06)

国際労働機関(ILO)
シニア・ジェンダースペシャリスト
南アフリカ

「私の仕事は、仕事の世界で男女平等の権利を促進することです」



アブディキア・アーメド (ソマリア出身)

クイーンズランド大学(2011-12)

Immigration Partnership

責任者
カナダ

「私たちは平和フェローというファミリーの一員です。平和フェローは地域社会における変化の担い手だと思います。変革の推進者になるには、社会にインパクトをもたらし、意思決定の場に積極的にかかわる必要があります」



平和センターフェローの研究修了発表

2019／6／15 国際基督教大学



平和の願いはきっとかなう！



申請方法

- rotary.org/ja/peace-fellowshipsで申請資格を確認
(申請は2月に受付開始)
- 各ロータリー平和センターのカリキュラム・プログラムを確認
(修士号プログラムは第1・2希望の平和センター、修了証プログラムは1つの平和センターを選ぶ)
- [地元クラブまたは地区と連絡を取り](#)、申請手続(面接、推薦を含む)を確認
- 地元のクラブを[クラブ所在地検索](#)で探し、ロータリーの活動に参加
- オンライン申請書に必要事項を入力し、**5月31日**までに地区に提出
(ロータリー財団による選考の結果は**11月**に通知)
- 選出された平和フェローは、別途、提携大学に入学申請を提出



お問い合わせ
rotarypeacecenters@rotary.org



推薦のお願い

平和な世界を築いていくには、もっと多くの平和構築者が必要です。

ロータリーの平和プログラム、「ロータリー平和センター」では、選り抜かれた関連分野の専門家たちが、平和構築の知識とスキルを磨くために、熱心に研究に励んでいます。これらの優秀な平和フェローの候補者を探す上で重要な役割を担うのがロータリアンです。明日の平和構築者を育てるために、平和フェローの推薦にどうかご協力ください。



ロータリー財団 学友会

学友委員長 橋浦 寛

「ロータリー財団学友会」とは、

国際親善奨学生、研究グループ交換 (GSE)参加者、ロータリー平和フェロー、グローバル補助金と地区補助金による奨学生、職業研修チーム (VTT) メンバー、ロータリーボランティア補助金、大学教員のための補助金、およびカール P. ミラー助成金の受領者、その他のロータリープログラムに参加した経験のある人々からなる組織です。

学友会の目的

1. ロータリー学友の絆を育み、維持していくこと
2. 学友同士、また、学友とロータリアンとのネットワークを築くこと
3. 奉仕活動に参加する機会を学友に提供すること
4. ロータリークラブ（Eクラブを含む）やローター アクトに学友を迎え入れることでロータリー の会員増強を助長すること

学友会に入会することのメリットは何ですか。

- ・以下のような機会を通じて、ロータリーとのつながりを保ち、ロータリーの標語である「超我の奉仕」に参加できます。
- ・ 経験豊かな職業人を代表するリーダーとのネットワーク
- ・ ロータリープログラム参加者の選考委員を務める機会
- ・ 現在および将来のプログラム参加者の相談役となる機会
- ・ ロータリークラブやローターアクトクラブの例会や地区の行事でスピーチをする機会
- ・ 海外や地元の奉仕プロジェクトに参加する機会

いわての団居 北上花見



いわての団居

総会



学友会 新年会



学友会 行事



財団奨学生帰国報告会

学友会 行事



音楽の贈り物

正木裕子様

閑上小中学校

各クラブで過去にお世話した
財団奨学生、GSE団員がおりましたら
2520地区ロータリー財団学友会への
入会を勧めて下さい。
(他地区関係者でも可)

ご高覧ありがとうございました。